

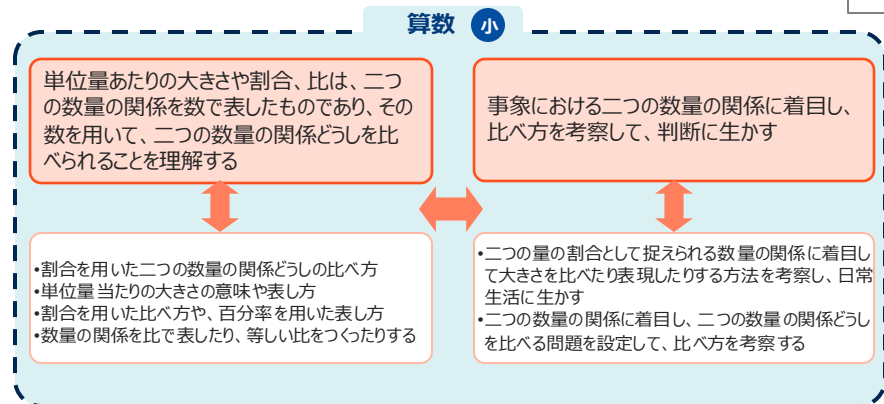
# 単元構想に向けた「統合的な理解」「総合的な発揮」の活用イメージ

**5年生の「割合」の単元で「深い学び」を実現するためには、どうやって単元構想をすればいいかな。**

**まずは、第5学年の「割合」の単元で育成すべき資質・能力を確認しよう。「統合的な理解」「総合的な発揮」と単元目標を見比べると、「割合」の学習が、将来、どんなことを理解し、どんな思考ができるようになるためにあるのかわかるな。**

**各時間で育成する資質・能力や学習活動が、「統合的な理解」「総合的な発揮」や単元目標につながっているか心配だな。**

**右のような単元構想図を使って、単元での資質・能力の「深まり」や「一体的育成」のイメージを把握した上で（赤矢印）、各時間で育成する資質・能力を理解し、学習活動を構想することが重要なんだな。**



「統合的な理解」「総合的な発揮」等を活かして単元を構想するプロセスの一例（イメージ）

時	学習内容	単元目標・評価規準に到達するまでの学習のつながり
8 7	● 学習の振り返り ● 評価課題	二つの数量の關係どうしの比べ方を理解する。(ア)
6	● 日常生活における割合を用いた問題	百分率を用いた二つの数量の關係どうしの比べ方を理解する。(ア・イ)
5	● 百分率の問題	百分率を用いて、基準量と比較量の求め方を理解する。(イ)
4	● 百分率や歩合の意味と表し方	百分率による割合の表し方を理解し、割合を百分率で表したり、百分率で表された割合を小数で表したりすることができる。(イ)
3	● 他の事象における割合を用いて比べる問題	異なる事象でも、二つの数量の關係どうしを比べられることを理解する。(ア)
2 1	● 二つの数量の關係どうしの比べ方	二つの数量の關係に着目し、二つの数量の關係どうしを比べられる事象が、他にもあるかを予想する。(ア)
本単元の学習に関連が強い既習内容		(第4学年) 簡単な場合についての割合 (第5学年) 簡単な場合の比例の關係、小数の乗法及び除法、測定値の平均、異種の二つの量の割合

いつも「統合的な理解」「総合的な発揮」や単元目標を参照して各時間の学習活動を構想

※この後は、単元の評価計画を検討したり、各時間の授業計画を行う。

※「統合的な理解」「総合的な発揮」等を活かして単元構想を行う際の思考プロセスを明確にするために作成しているイメージであり、各教師に常に参考イメージに示した資料を作成することを求める趣旨ではないことに留意。教科書会社が編集に当たってこうした整理を行いながら教科書を編集し、指導書等でその構造を示していくことで、経験の浅い教師でも資質・能力を関連付けて深めていく授業づくりが徐々にできるようになっていく環境を整えていくことが重要。